[PDF Database Document] - BTCC Cryptocurrency Exchange

原文:
https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/what-is-the-future-of-ethereum-eth

【2023年最新】イーサリアム(ETH)の今後は？ 将来性や価格予想を解説

イーサリアム（Ethereum/ETH）は、ビットコイン(BTC)に次ぐ時価総額第 2 位の仮想通貨。

DefiやNFTなど、様々なWeb3.0サービスの基盤となるプラットフォームとしても活用されています。

2022年には、6年間にも及ぶアップデートが完了し、コンセンサスアルゴリズムがPoWからPoSに変更され、大きな注目を集めました。

この記事では、そんなイーサリアムの概要やこれまでの価格の変動、将来的な見通し、購入するタイミングなどについて解説していきます。

また、イーサリアムに関するよくある質問に対する回答も網羅的にまとめているので、イーサリアムの理解が深まることは間違いありません。

【関連記事】

イーサリアムの10年後の価格は？ 今後の価格動向や見通しを徹底解説

イーサリアムの買い方は？ おすすめの取引所や注意点・タイミングを解説

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

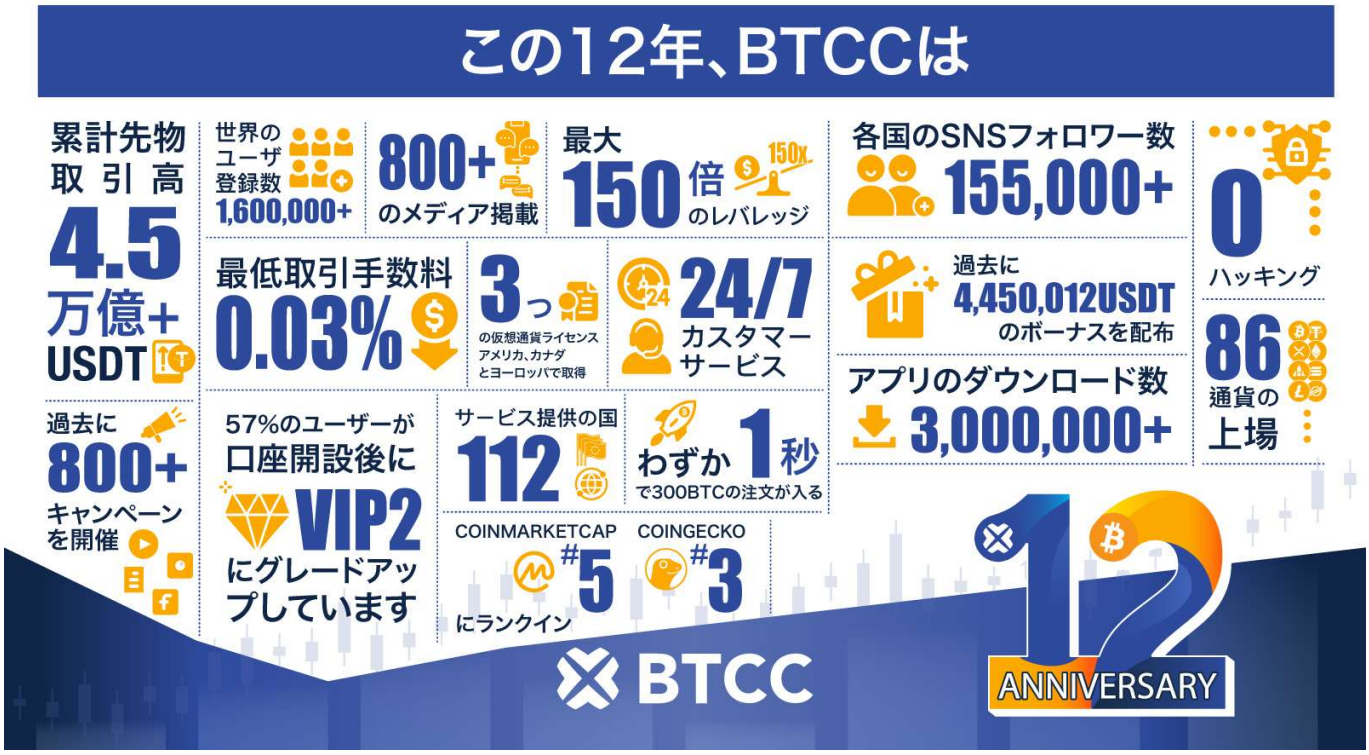
✔この記事で分かること

・イーサリアムの概要・ビットコインとの違い
・イーサリアムの今後の見通し・展望
・イーサリアムの価格推移・価格予想
・イーサリアムが今後暴落する可能性とその原因
・イーサリアムの買い時や買うタイミング
・イーサリアムに関するよくある質問

BTCCでは**イーサリアム（Ethereum/ETH）の無期限先物取引サービス（ETHUSDT）を提供し、**海外取引所でありながら**銀行振込やクレジットカードで日本円から直接入金できます。**

[TRADE_PLUGIN]ETHUSDT,ETHUSDT[/TRADE_PLUGIN]

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

目次

1.イーサリアム（Ethereum/ETH）とは？
- イーサリアムの概要・基本情報

2. イーサリアム（Ethereum/ETH）とビットコイン（BTC）の違い

3. イーサリアム（Ethereum/ETH）の今後の見通し・展望【2023年】
- 大企業による手厚いバックアップ
- 大型アップデートの予定
- イーサリアムETFの承認

4. イーサリアム（Ethereum/ETH）の価格動向/推移
- 2017年イーサリアムの価格推移
- 2018年イーサリアムの価格推移
- 2019年イーサリアムの価格推移
- 2020年イーサリアムの価格推移
- 2021年イーサリアムの価格推移
- 2022年イーサリアムの価格推移

5. イーサリアムの将来性は？今後はヤバイ？

6.イーサリアムの今後の価格予想（学者・専門家）
- 学者によるイーサリアムの価格予想
- 専門家によるイーサリアムの価格予想

7. イーサリアム（Ethereum/ETH）が今後暴落（下落）する可能性とその原因は？
- 仮想通貨の規制
- イーサリアム・キラーの台頭
- 一部のユーザーが大量保有

8.イーサリアム（Ethereum/ETH）の買い時や買うタイミングは？

9. イーサリアム（Ethereum/ETH）に関するよくある質問

10.【まとめ】イーサリアム（Ethereum/ETH）の今後は？価格予想や将来性について解説

11. 関連記事

＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

イーサリアム（Ethereum/ETH）の現在価格とチャート

まずは、イーサリアムの現在の価格動向やチャートを見ていきましょう。

Ethereum チャート

＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

上記はイーサリアム（Ethereum/ETH）のリアルタイムチャートです。

BTCCでは現在、**イーサリアム（Ethereum/ETH）の無期限先物取引サービス（ETHUSDT無期限先物）**を提供しており、詳しくはBTCCの公式サイトでチェックしましょう。

[TRADE_PLUGIN]ETHUSDT,ETHUSDT[/TRADE_PLUGIN]

イーサリアム（Ethereum/ETH）の現在の価格と動向

2023年7月現在、イーサリアム（Ethereum/ETH）の価格は1ETH=23.6万円前後で、過去24時間比0.66％安となっています。

イーサリアム（Ethereum/ETH）の時価総額はビットコインに次ぐ二番目になり、約28.4兆円となっています。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

Google Playで手に入れよう　　App Storeからダウンロード

日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）《《《

イーサリアム（Ethereum/ETH）とは？

イーサリアムとは、当時19歳だったヴィタリック・ブテリン（Vitalik Buterin）氏によって2013年に考案されたもので、ブロックチェーンに「スマートコントラクト」という機能を詰め込んだ、アプリ開発プラットフォームの総称のこと。そのプラットフォーム上で発行される仮想通貨はETH（イーサ）と呼ばれます。

イーサリアム（Ethereum/ETH）の概要・基本情報

通貨名	イーサリアム/Ethereum
シンボル	ETH
現在の価格（2023年9月11日現在）	23万6,033円
時価総額（2023年9月11日現在）	28兆3850億円
時価総額ランキング（2023年9月11日現在）	2位

スマートコントラクトは、簡単に言うと「人の手を介さずに決まりごとを自動で実行してくれる仕組み・機能」のこと。別の言い方をすると、ブロックチェーン上に組み込めるプログラムのことです。

スマートコントラクトを理解する時に分かりやすいのが自動販売機。

「お金を入れる→ボタンを押す→商品が出てくる」このような一定の条件によって自動的に処理を実行できるようにする機能が仕組みが、スマートコントラクトのイメージです。

なお、ブロックチェーン上にスマートコントラクトというプログラムを搭載可能になったことで、DefiやＮＦＴなどのWeb3.0サービスが生まれました。

イーサリアムは、世界で初めて、ブロックチェーン上にスマートコントラクトを搭載したアプリ開発のプラットフォームであり、Web3.0サービスを急速に普及させた立役者とも言えますね。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

イーサリアムとビットコインの違い

ビットコインとの違いは以下の表のとおりで、同じ仮想通貨ではありますが、全くの別物です。

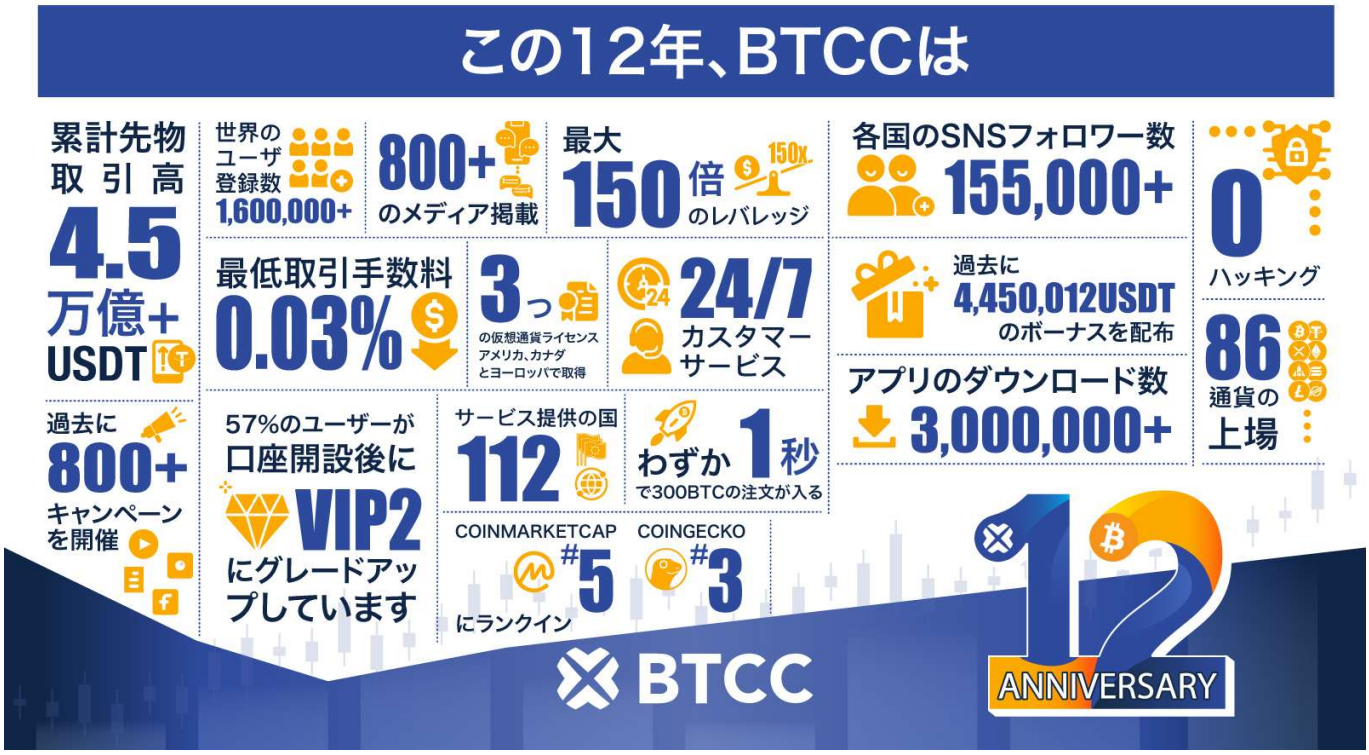
	イーサリアム	ビットコイン
目的・用途	決裁や価値の保存	サービス開発のプラットフォーム
送金スピード	約10分	約15秒
発行上限	2,100万枚	上限なし

大きな違いは目的や用途。ビットコインはデジタルゴールドとも呼ばれているように、資産としての役割しかありませんが、イーサリアムはサービス開発のプラットフォームとして活用されています。

一般的には同じ仮想通貨として一括りにされがちですが、全くの別物だということを覚えておきましょう。

どちらも将来的には、私たちの生活に必要不可欠なものになることは間違いありません。今のうちに少額でも購入しておくと、良い勉強になるはずです。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

Google Playで手に入れよう　　App Storeからダウンロード

日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） ‹‹‹‹

イーサリアムの今後の見通し・将来性【2023年】

イーサリアムの今後の見通しや展望については、主に以下のポイントから考察できます。

・大企業による手厚いバックアップ

・大型アップデートの予定

・イーサリアムETFの承認

順番に見ていきましょう。

大企業による手厚いバックアップ

イーサリアムには、Enterprise Ethereum Alliance（イーサリアム企業連合、略称：EEA）と呼ばれる非営利団体のバックアップがあります。

EEAは、2017年に設立された非営利組織であり、イーサリアムを基により企業の要望に特化した「Enterprise Ethereum」（エンタープライズ イーサリアム）を開発しようというプロジェクトのこと。

EAAには、世界各国500以上の企業が加盟しており、その中にはマイクロソフトやトヨタ、ＮＴＴなどの有名企業も含まれています。

イーサリアムは、世界中の企業が加盟する団体からのバックアップがあるため、今後も開発が進められ、ますます多くの企業によって活用されていくことは間違いないでしょう。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、[BTCC公式サイト]をチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

[BTCC口座開設はこちら]

大型アップデートの予定

2022年の9月15日、イーサリアムは大型アップデートThe Merge(マージ)を完了しました。

マージによって、コンセンサスアルゴリズムがPoW（プルーフ・オブ・ワーク）からPoS（プルーフ・オブ・ステーク）へと移行され、膨大な計算が必要なくなり、エネルギー効率が向上しています。

大型アップデートが完了したイーサリアムですが、今後もアップデートの予定が残されています。具体的な時期は未定ですが、2023年～2024年には最終アップデートである「シャーディング」が控えており、今後さらに注目されることは間違いありません。

なお、シャーディングとは、イーサリアムのスケーラビリティと性能を向上させるための複数のフェーズにわたるアップデートのこと。

現在のイーサリアムは、1つのブロックの中に書き込めるトランザクション（取引データ）の数が限られており、一定のデータ量まで書き込まれると処理速度が著しく低下し、送金遅延を引き起こしてしまいます。

そんな送金遅延問題（スケーラビリティ問題）の解決を目指し実施されるアップデートを、シャーディングと言います。

スケーラビリティ問題が解消されれば、イーサリアムの活用はさらに進み、人類の新たなインフラとして必要不可欠な存在になることは間違いありません。

そうなると、必然的にイーサリアムの価値は上昇する可能性が高いと言えるでしょう。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

イーサリアムETFの承認

2022年4月、オーストラリアでイーサリアムのETFが承認されました。

ETFとは、上場投資信託のことで、多数の投資家から集めた資金を、運用会社が株式や債券などに投じて運用する金融商品のこと。

ETFとして承認されると、証券会社で売買ができるため、これまで以上に投資家から注目が集まります。

イーサリアムETFは、現状ではオーストラリアだけで承認されていますが、今後アメリカやヨーロッパで承認されれば、より一層イーサリアムへの注目が高まることでしょう。

なお、ビットコインETFに関しては、アメリカで承認されていることから、イーサリアムETFも承認さ

れる可能性が高いと言えます。

イーサリアム（**Ethereum/ETH**）を取引したい方は、[**BTCC**公式サイト](#)をチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ ／

[**BTCC**口座開設はこちら](#)

イーサリアム（**Ethereum/ETH**）のこれまでの価格推移

ここからは、イーサリアムの過去の価格動向をおさらいしていきます。

・2017年イーサリアムの価格推移

・2018年イーサリアムの価格推移

・2019年イーサリアムの価格推移

・2020年イーサリアムの価格推移

・2021年イーサリアムの価格推移

・2022年イーサリアムの価格推移

順番に見ていきましょう。

2017年イーサリアムの価格推移

2016年6月、「The DAO」事件と呼ばれるイーサリアムの大規模な盗難事件が発生しました。被害額は約５２億円とも言われており、仮想通貨業界を震撼させました。

この影響から、イーサリアムの価格は一時的に暴落。当時の価格は1,000円前後をつけています。

その後、2017年9月、イーサリアムの3回目となるアップデート「ビザンチウム」が実施されたことや、

仮想通貨市場がバブル相場に突入したことにより、2017年の末にはイーサリアムの価格は8万円まで高騰しています。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

2018年イーサリアムの価格推移

2018年初頭、15万円を超えたイーサリアムの価格は、仮想通貨バブルの崩壊により、2018年中旬には1万円台まで暴落しました。

さらに、2018年はG20サミットにて仮想通貨規制に関する議論が行われたことや、中国を始めたとしたさまざまな国が仮想通貨を使った新たな資金調達の仕組みであるICOを規制する動きを始めたことなどから、イーサリアム含め仮想通貨全体の価格下落が加速しました。

2019年イーサリアムの価格推移

2019年に入ってからは、イーサリアムの価格は徐々に上昇し、一時約3.6万円を付けたものの、2018年の1月に付けた最高値である約15万円を超えることはありませんでした。

なお、2019年12月には、イーサリアム2.0に向けたアップデート「イスタンブール」が行われましたが、大きく価格が上昇することはありませんでした。

2019年は、仮想通貨市場が年間を通して低迷し、まさに冬相場の一年だったと言えるでしょう。

2020年イーサリアムの価格推移

2020年は、世界的なDefiバブルが発生したことから、基盤となるイーサリアムの需要も大幅に上昇したものの、世界を震撼させた感染症による経済打撃が大きく、2018年に付けた最高値を更新することはありませんでした。

しかし、2020年12月に実施された「セレニティ」アップデートの影響もあり、年末にかけてイーサリアムの価格は上昇傾向に転じ始めました。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

2021年イーサリアムの価格推移：2021年

2021年は、仮想通貨市場全体が高騰した年でした。イーサリアムもその例外ではなく、セレニティアップデートが実施された影響もあり、11月には過去最高値である50万円を突破しています。

価格上昇の背景には、2020年から継続するDeFiのトレンドや、2021年夏に発生したNFTの世界的な大流行「ＮＦＴサマー」による影響が大きいと考えられます。

DefiやNFTは、そのほとんどがイーサリアム上で構築されているため、価格高騰の追い風になったと言えるでしょう。

また、2021年は、Solanaを始めとした、イーサリアムと比較して処理能力が高い、取引手数料（ガス代）が安い、環境への配慮として電力消費が少ないなどの特徴を掲げるイーサリアムの競合ブロックチェーン「イーサリアム・キラー」も同時に台頭し始めた年でした。

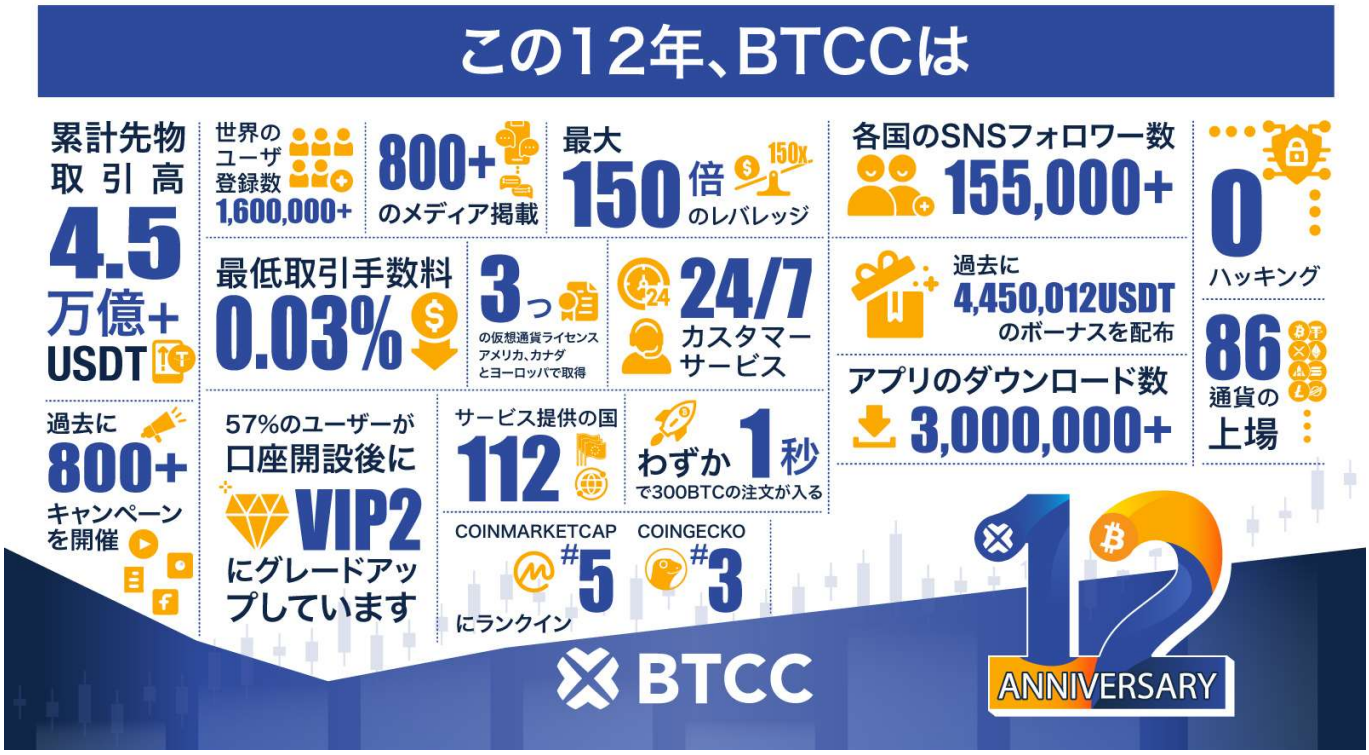
2022年イーサリアムの価格推移

2022年に入り、イーサリアムの価格は大きく下落。2021年に付けた最高値53万円から20万円前後を推移する、停滞の年になりました。

また、ウクライナ侵攻や米大手仮想通貨取引所の出金停止問題などの悪いニュースが続いたことも、価格停滞の要因になったと考えられます。

さらに、2022年はＮＦＴやDefiのブームも下火になったことで、市場全体が低迷した年だったと言えるでしょう。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

Google Playで手に入れよう　　App Storeからダウンロード

日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） ‹‹‹‹

イーサリアムの将来性は？ 今後はヤバイ？

2021年末以降、仮想通貨市場は冬相場と言われていることに加え、2022年は、ステーブルコインTerraUSDの暴落や大手仮想通貨取引所FTXの経営破綻など、仮想通貨市場を揺るがすような事件が発生しました。

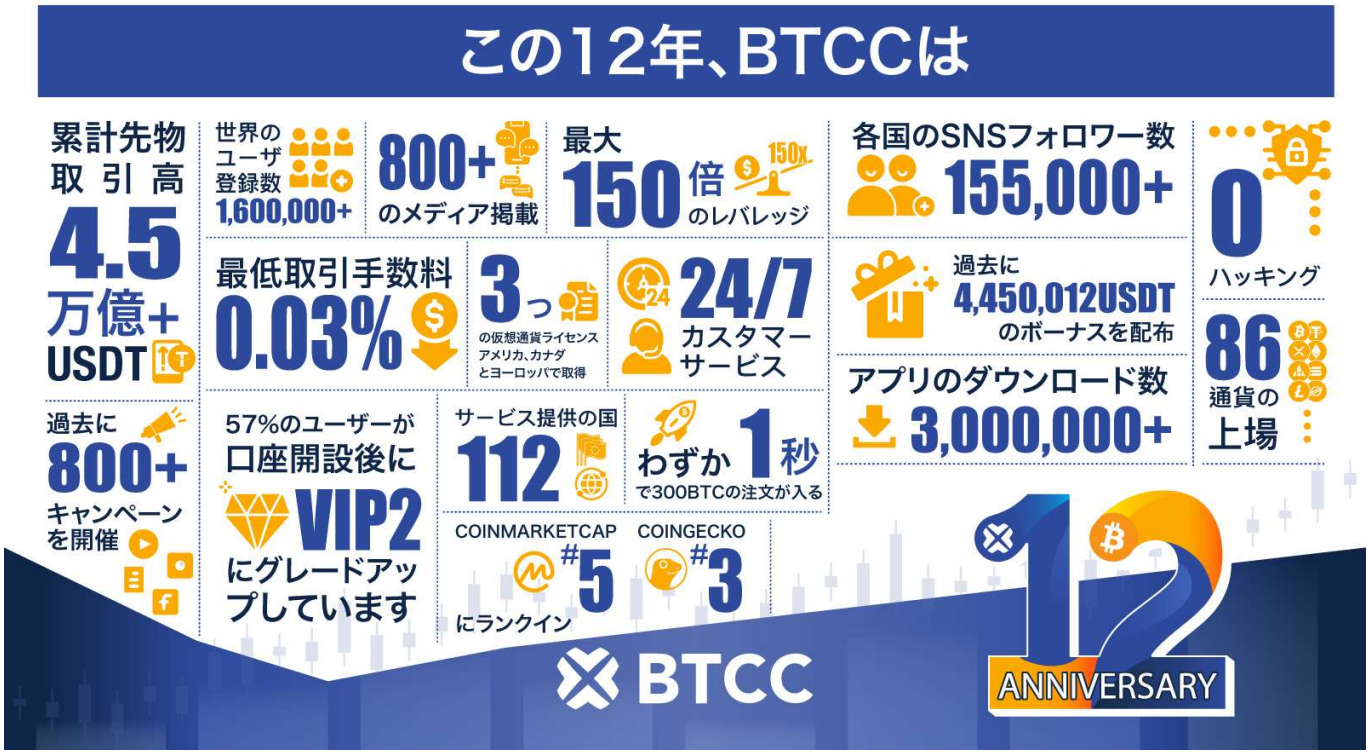
仮想通貨市場にとってマイナスの影響を与える出来事が多い2022年でしたが、2023年も引き続き不安定な年になることが懸念されています。

特に、経営破綻前には世界第2位であった仮想通貨取引所FTXのずさんな資産管理と経営体質による崩壊と創設者の逮捕は、仮想通貨業界全体の信用に大きな衝撃を与えたため、今後も冬相場が続く可能性が高いと言えるでしょう。

一方で、ブロックチェーン技術の開発は着実に進展しており、長期的な目で見れば、仮想通貨の需要増加に伴う価格上昇が期待できるかもしれません。

また、イーサリアムはビットコインに次ぐ時価総額第２位の仮想通貨であり、多くのWeb3.0サービスの基盤となる存在であるため、数ある仮想通貨の中でも、最高レベルで将来性が高いと言えるでしょう。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

イーサリアム（Ethereum/ETH）の今後の価格予想

ここからは、学者や専門家によるイーサリアムの今後の価格予想を解説していきます。

・学者による価格予想
・専門家による価格予想

順番に見ていきましょう。

学者によるイーサリアムの価格予想

英紙インディペンデントが30名以上の学者に対して行った「今後のイーサリアムの価格予想」に関する調査によると、2025年に2万ドルを超える予想を示した学者が多く見られたとのこと。

その理由としては、スマートコントラクトのさらなる開発によるDefiの需要拡大、イーサリアムを基盤としたさまざまなプロジェクトの誕生などが挙げられています。

イーサリアムを活用したDefiやNFTなどは、まだまだ世界中のごく一部の方のみの利用に留まっていますが、今後間違いなく浸透していくことでしょう。

そうなると、2025年に2万ドルを超える可能性は高いかもしれません。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

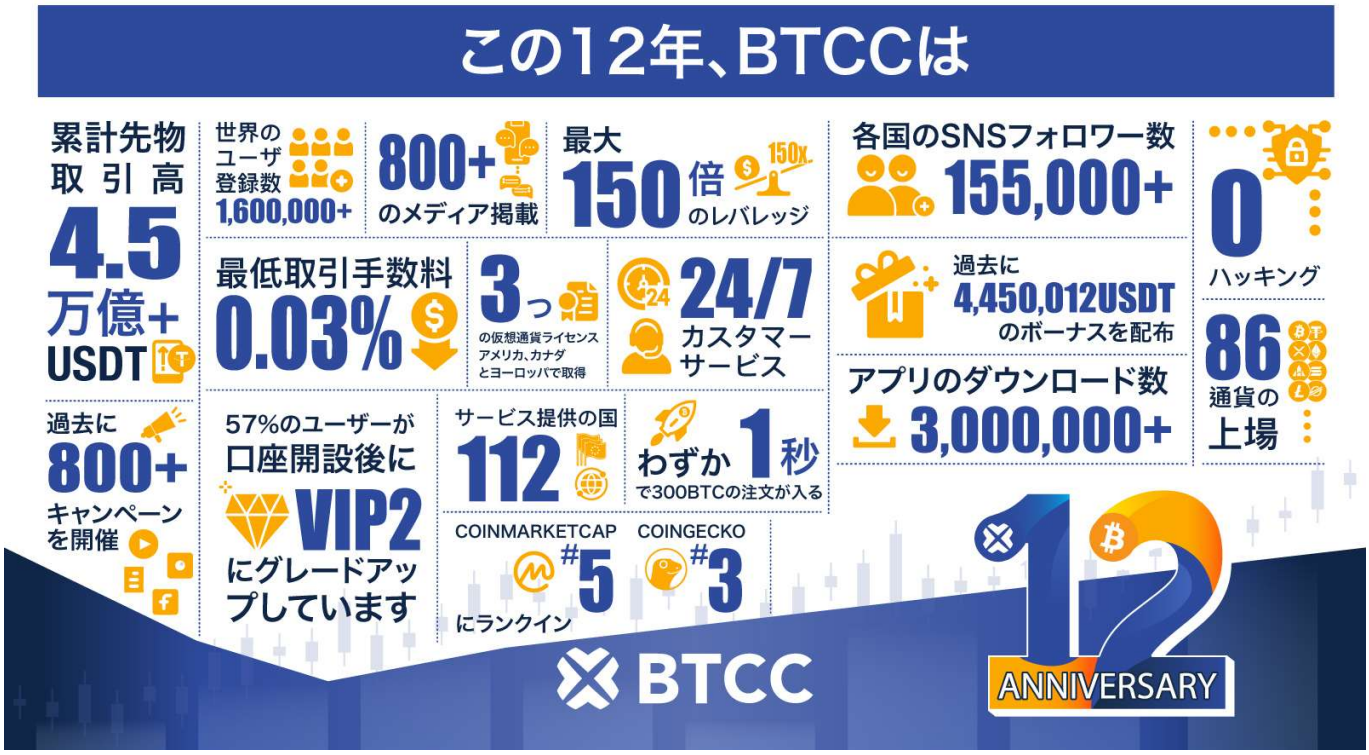
専門家によるイーサリアムの価格予想

米ファインダー社が行った40名以上の専門家に対する今後のイーサリアムの価格予想に関する調査によると、2025年には約1.8万ドル、2030年までに約7.2万ドルに到達することが予想されています。

中には10万ドルを超えるとの予想や、ビットコインを超える存在になると考える専門家も存在するなど、イーサリアムに対する期待値の高さがうかがえます。

なお、強気の価格予想をする理由としては、英紙インディペンデントが行った学者に対する調査と同様に、イーサリアム上に構築されるDefiを始めとしたプロジェクトの成長や一般層への浸透などが挙げられました。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

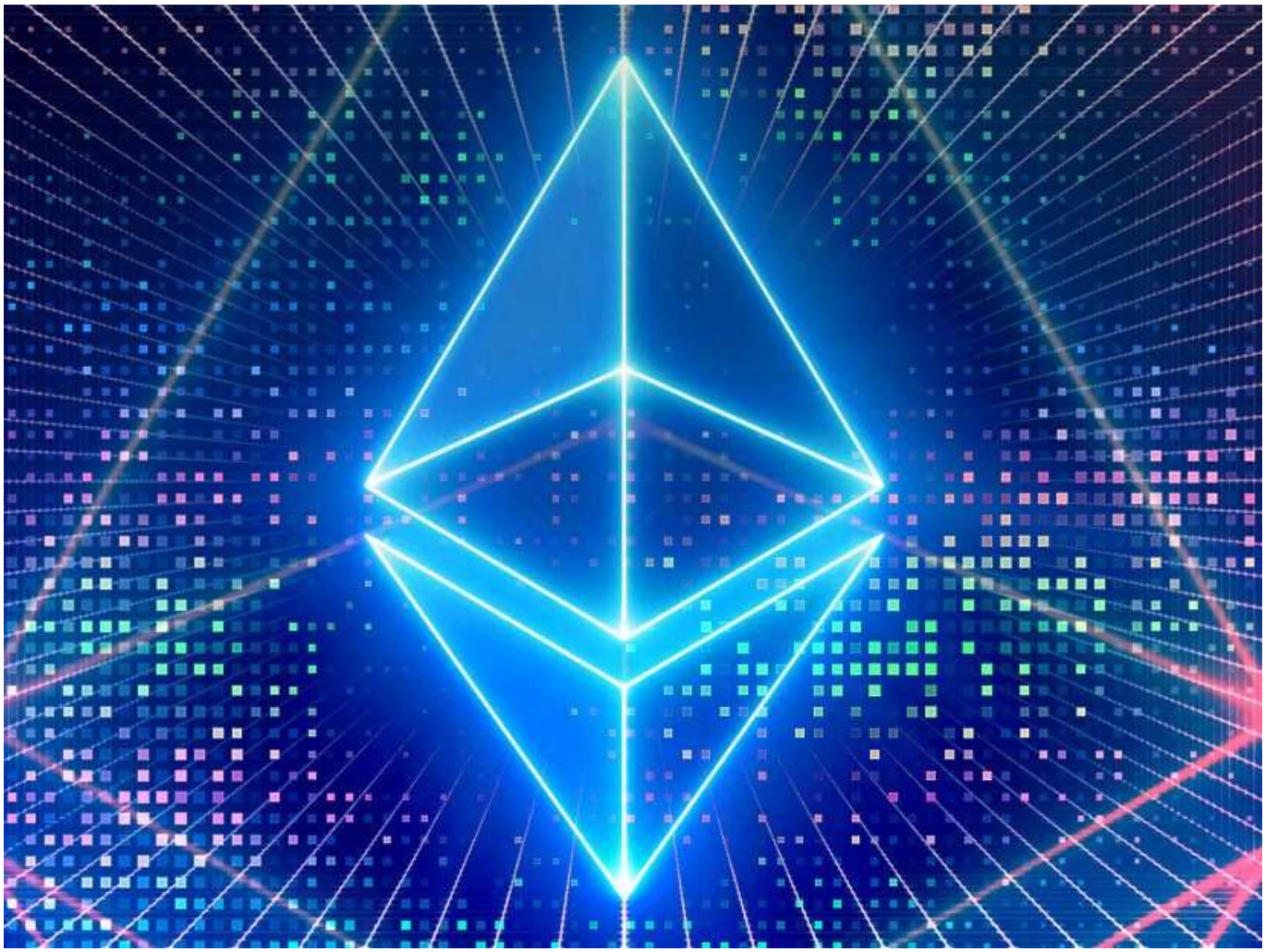


＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

Google Playで手に入れよう　　App Storeからダウンロード
日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）《《《《

イーサリアム（Ethereum/ETH）が今後暴落すると言われる理由は？



ここからは、イーサリアムの価格が暴落する可能性とその原因について見ていきましょう。

・仮想通貨の規制

・イーサリアム・キラーの台頭

・一部のユーザーが大量保有

順番に解説していきます。

仮想通貨の規制

イーサリアムの価格が暴落する原因の一つとして、アメリカや中国などの大国による仮想通貨の規制が挙げられます。

実際に、2021年に中国で仮想通貨の取引や事業が全面的に禁止された際には、イーサリアムの価格は30％ほど暴落しました。

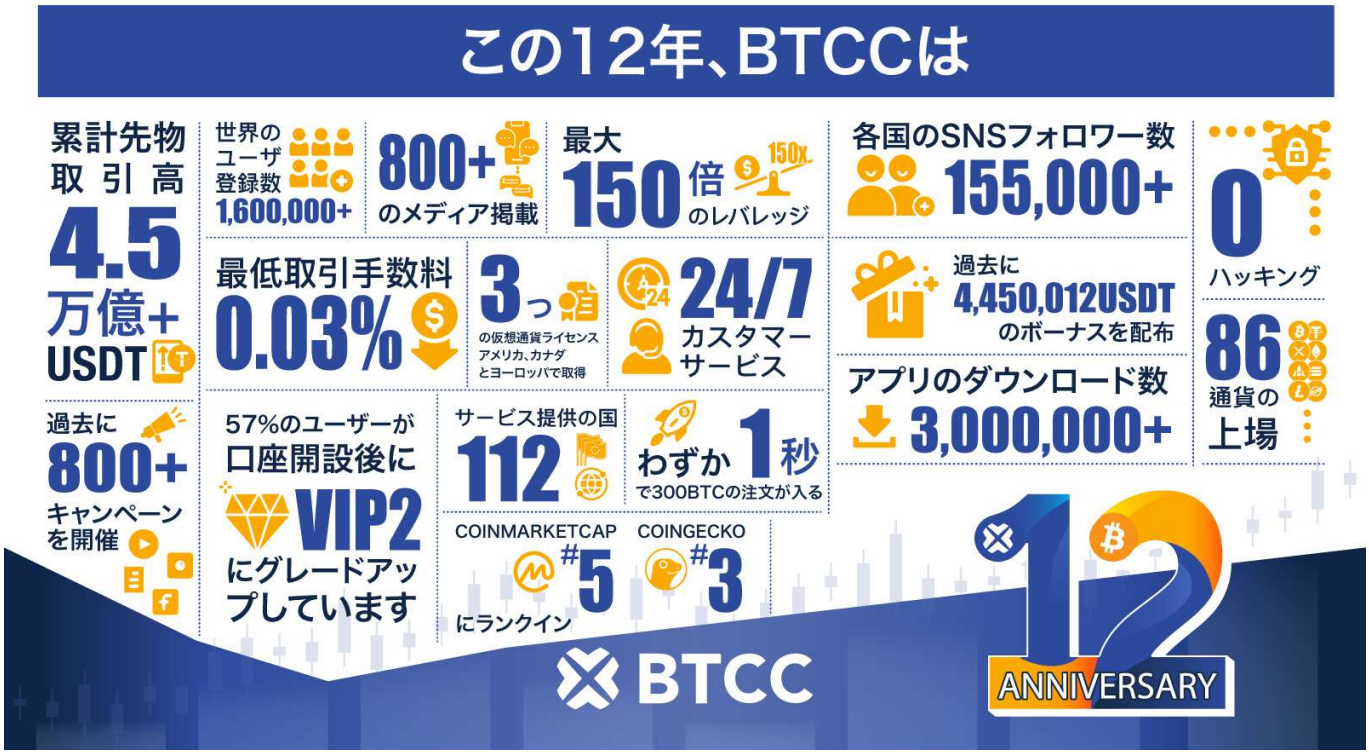
このように、アメリカや中国などの大国の規制が厳しくなると、イーサリアムに限らず、仮想通貨市場全体が暴落してしまいます。

可能性は極めて低いと言えますが、中国以外の大国が仮想通貨の規制を行った場合、2021年同様、大幅に価格が下落してしまうと言えるでしょう。

とはいえ、仮想通貨は間違いなく私たちの日常に必要不可欠なものになるはずですし、特にイーサリアムに関しては、サービス開発のプラットフォームとして、ますます需要が高まることが予想されています。

そのため、一時的な暴落は避けられないとしても、長期視点で見れば、今後価格が暴落したとしても気にする必要はないかもしれません。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

イーサリアム・キラーの台頭

イーサリアム・キラーの台頭によって、イーサリアムの需要が減少し、価格が暴落する可能性があります。イーサリアム・キラーとは、イーサリアムが抱えるスケーラビリティ問題の解決を目的に誕生したプロジェクトの総称のこと。

スケーラビリティ問題とは、イーサリアムを利用するユーザーが増えたことで、取引の処理が追いつかなくなる問題です。

イーサリアム・キラーの代表例としては、SolanaやCardan、Polygonなどが挙げられます。

その中でも、特にSolanaについては、2022年6月にプライベートトークンセールでa16zやPolychain Capitalなど大手VCから約344億円の資金調達をしており、高い期待を集めています。

イーサリアム・キラーの開発が進み、イーサリアムを超える需要が集まった場合、イーサリアムの価格が暴落することは間違いないでしょう。

とはいえ、イーサリアムもアップデートを日々繰り返しており、スケーラビリティ問題が解消されるのは時間の問題だと言えます。

また、既に多くのWeb3.0サービスがイーサリアムを基盤として稼働していることからも、イーサリアムの価値は盤石だと言えるでしょう。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

一部のユーザーが大量保有

米大手投資銀行のモルガン・スタンレー・ウェルス・マネジメントは、多くのイーサリアムは少数のユーザーによって保有されており、分散率の低さが問題だと指摘しています。

2022年2月時点では、上位100アドレスがイーサリアムの39%を保有しているとのこと。イーサリアムに限らず、ビットコインなどの仮想通貨を大量に保有するユーザーのことをクジラと呼びますが、そのクジラが一度に大量のイーサリアムを売却してしまった場合、大規模な売り圧が発生することは間違いありません。

売り圧が発生すると、多くのユーザーが一斉に売却し、イーサリアムの価格が暴落してしまいます。

このように、イーサリアムを大量に保有するクジラの存在は、イーサリアム暴落の原因になる可能性が高いと言えるでしょう。

とはいえ、クジラたちは、自身が保有するイーサリアムを一度に大量売却することで、イーサリアムの価格が暴落することは間違いなく認識していると考えられるため、そのような行為が行われる可能性は極めて低いと言えます。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

イーサリアム（Ethereum/ETH）の買うタイミングは？

イーサリアムの買い時は、以下のようなタイミングが挙げられます。なぜなら、以下のタイミングでイーサリアムが上昇する可能性が高いから。必ずとは言えませんが、過去の状況を鑑みると、購入するタイミングとして適切だと言えるでしょう。

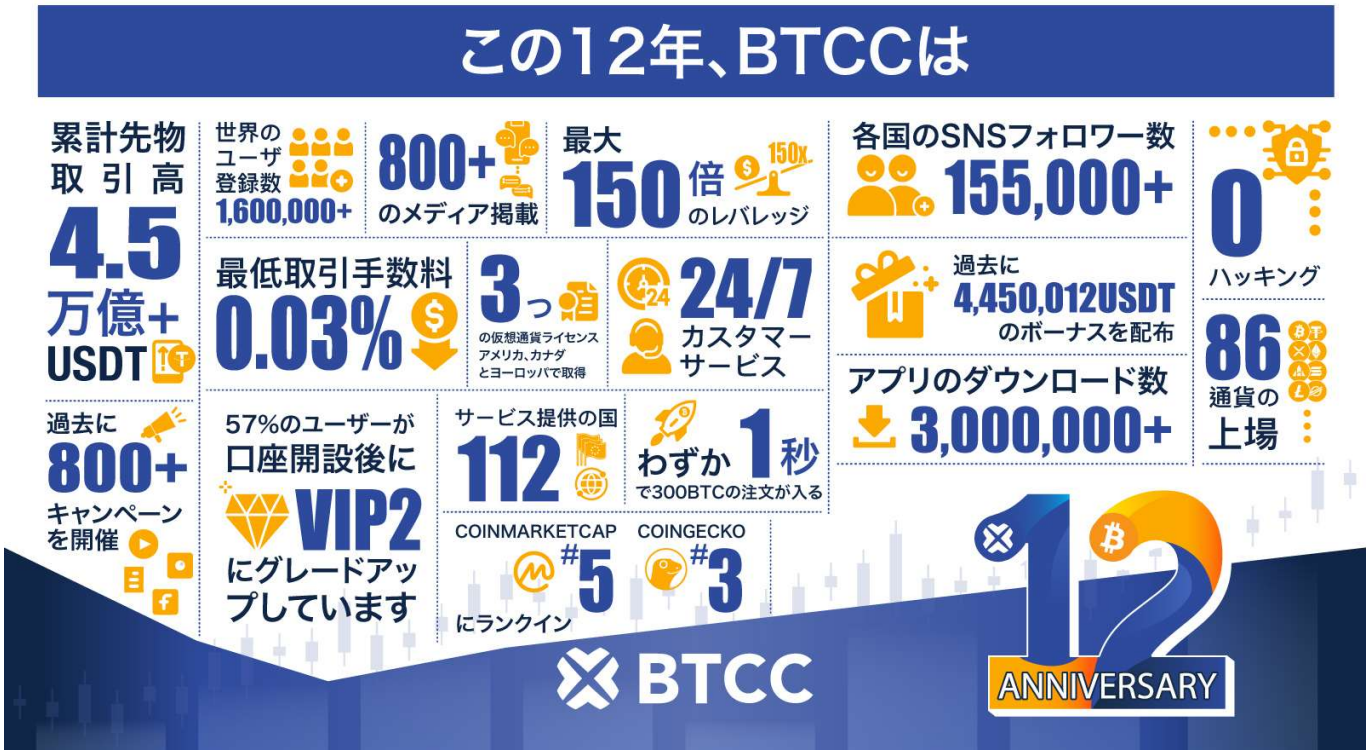
・大型アップデート前

・下落の継続が終わり、上昇し始めた時

・大企業や国等による規制緩和などの追い風となるニュースの発表直後

とはいえ、イーサリアムは長期的に見れば現在より価格が上昇する可能性が高いため、常に今が買い時だと言えるかもしれません。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

Google Playで手に入れよう　　App Storeからダウンロード

日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） ‹‹‹‹

イーサリアム（Ethereum/ETH）に関するよくある質問

ここからは、イーサリアムに関するよくある質問に回答していきます。

・イーサリアムの10年後の価格予想は？

・イーサリアムは1000万円になる？

・イーサリアムはビットコインの価格を超える？

順番に見ていきましょう。

イーサリアムの10年後の価格予想は？

米ファインダー社が行った40名以上の専門家に対する今後のイーサリアムの価格予想に関する調査によると、2030年までに約7.2万ドルに到達することが予想されています。

それ以降の予測は出されていないため分かりませんが、現在の価格より大幅に上昇する可能性が高いと言えるでしょう。

とはいえ、Web3.0に突入した現代は、技術の発展スピードが速いため、10年後には誰も予想できないような大きな変化が起きている可能性もあります。

イーサリアムの価格もあくまで予想であるため、明確なことは誰にも分かりませんが、ブロックチェーン技術は私たちの暮らしを間違いなくより良くしてくれるはずです。

その中でも、多くのサービスのプラットフォームとして活用されているイーサリアムは、ビットコインと並び最も将来性がある仮想通貨と言って間違いないでしょう。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

イーサリアムは1,000万円になる？

イーサリアムは、2030年までに約7.2万ドルに到達するとの予測もあるため、長期的に見れば1,000万円になる可能性もあると言えるでしょう。

短期視点にならず、長期的にイーサリアムへ投資することで、大きく資産が増やせるかもしれません。

イーサリアムはビットコインの価格を超える？

2023年3月末現在、ビットコインの現在価格は約300万円ほど。大してイーサリアムの価格は約20万円ほどと、約15倍の価格差があります。

また、ビットコインはデジタルゴールドと呼ばれており、供給量に上限がある一方で、イーサリアムはDefiやNFTなど、様々なWeb3.0サービスのプラットフォームとして活用されており、供給量に上限はありません。

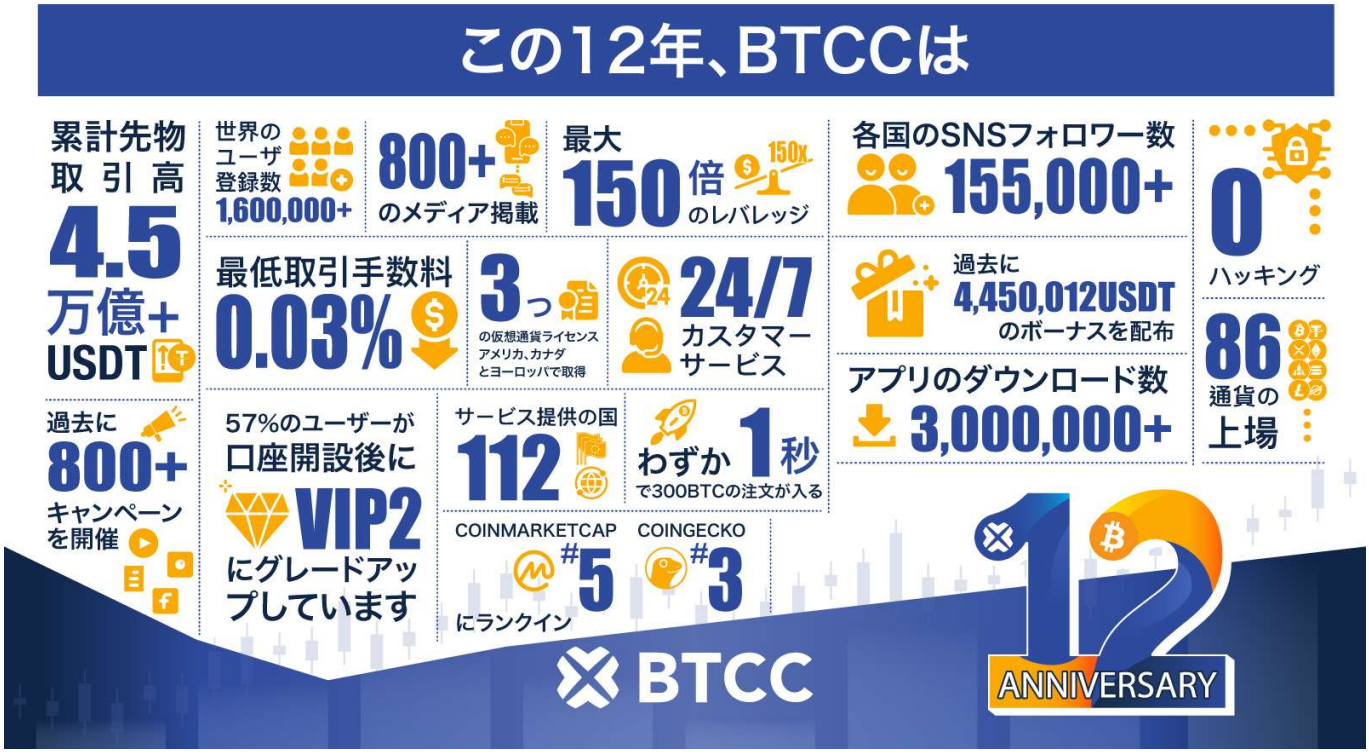
供給量や目的に大きな違いがあることや、現在の価格差から見ると、ビットコインの価格を超えることは難しいと予想されます。

とはいえ、仮想通貨市場は変化が激しく、将来のことは誰にも分かりません。

なお、時価総額でみると、両者の差は２倍程度しかありません。イーサリアムがビットコインの価格を超えることは難しいかもしれませんが、時価総額を超える可能性は大いにあると言えるでしょう。

そうなると、仮想通貨の時価総額１位として、盤石な地位が確立するため、価格の上昇も期待できるはずです。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

【まとめ】イーサリアム（Ethereum/ETH）の今後は？ 価格予想や将来性について解説

今回は、イーサリアムの概要や価格推移、将来性など、幅広く解説してきました。

イーサリアムは、ビットコインに次ぐ世界第２位の仮想通貨ですが、深く理解している方は少ないかもしれません。そんな方でも、この記事をしっかり読み込めば、イーサリアムの理解が深まることでしょう。

それでは最後に、今回の記事のおさらいをしていきましょう。

この記事のまとめ

①イーサリアムとは？

当時19歳だったヴィタリック・ブテリン（VitalikButerin）氏によって2013年に考案されたもので、ブロックチェーンに「スマートコントラクト」という機能を詰め込んだ、アプリ開発プラットフォームの総称のこと。

そのプラットフォーム上で発行される仮想通貨はETH（イーサ）と呼ばれます。

②イーサリアムの今後の見通しや展望

以下の３つのポイントから、今後も価格が上昇していくと予想できます。

・大企業による手厚いバックアップ

・大型アップデートの予定

・イーサリアムETFの承認

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

③イーサリアムの今後の価格予想

英紙インディペンデントが30名以上の学者に対して行った「今後のイーサリアムの価格予想」に関する調査によると、2025年に2万ドルを超える予想を示した学者が多いという結果に。

米ファインダー社が行った40名以上の専門家に対する今後のイーサリアムの価格予想に関する調査によると、2025年には約1.8万ドル、2030年までに約7.2万ドルに到達することが予想されました。

イーサリアムは、世界で初めてスマートコントラクトを搭載したブロックチェーンであり、Web3.0サービスの基盤として、幅広く活用されています。

今後も、活用事例は急速に拡大し、私たちの暮らしにますます必要不可欠になることは間違いないでしょう。

そんなイーサリアムをまだ購入したことが無い方は、価格が落ち着いている今のうちに、購入しておくのがおすすめですよ。

イーサリアム（Ethereum/ETH）を取引したい方は、BTCC公式サイトをチェックしてみてください。

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

仮想通貨ニュースや相場などに関してもっと知りたい方は、BTCCアカデミーやBTCCニュースをご覧ください。

BTCC公式サイト

【BTCC新規口座開設キャンペーン】

口座開設 ＆ 入金で最大10,055 USDTをゲット！

BTCC新規口座開設だけで **10USDT** ボーナス獲得！

本人確認完了でさらに **5USDT** をゲット！

口座開設後入金＆取引で最大 **10,055USDT** のボーナス獲得可能。

※キャンペーンを参加するには、申し込みが必要ですので、詳しくは**BTCC新規口座開設キャンペーン**でチェックしてください。

最新のキャンペーン情報はこちらから：https://www.btcc.com/ja-JP/promotions

＼新規口座開設だけで10USDTゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

【BTCCについて】

BTCCは、2011年6月に設立された仮想通貨取引所です。現在、世界110以上の国と地域でサービスを提供しています。

ビジョンとして、「信頼ができる仮想通貨取引を誰もが簡単に利用できること」を掲げており、**運営12年以来一度もセキュリティ事件を起こしていません**。世界で最も長い歴史と安心のセキュリティを備えるBTCCは、信頼できる取引所だと言えるでしょう。

BTCCは現在、ビットコインやイーサリアムなどの仮想通貨や、ゴールド・シルバーなどの人気コモディティ、Apple、Meta、Microsoftなどの米株を初めとするトークン化株式の先物商品を含む200種類以上の銘柄を取り扱っており、最大150倍のレバレッジ提供が可能です。

また、BTCCは高い流動性を誇っているため、仮想通貨市場において急騰・急落の相場が訪れたときにも一瞬で注文が通り、わずか1秒で300BTCの注文が可能なシステムを構築しています。

極端な相場になった時でもすぐに注文が通るほど取引板が厚くて、取引板では「Bid 1（売値）」と「Ask 1（買値）」は最大200BTCの注文、取引板の注文を合わせて最大1000BTCの注文が可能です。

さらに、スマホアプリ、Webサイトともに完全日本語対応のため、日本人にも使いやすいのが特徴で

す。BTCCは現在日本での登録者数が徐々に増加しており、またウェブサイトやSNSを通じて日本限定のキャンペーンも度々開催されています。

＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ ／

BTCC口座開設はこちら

Google Playで手に入れよう　　App Storeからダウンロード

日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） <<<<

関連記事

仮想通貨MultiversX（EGLD）とは？ 今後の将来性や買い方・取引所を徹底解説

ドージコイン(DOGE)の今後はどうなる？ 将来性や価格予想を徹底解説

エイダコイン(ADA)は10000円になる？ 今後の価格予想やステーキングを徹底解説

エイダコイン(ADA/カルダノ)の将来性は？ 今後の価格予想や買い方を解説

ライトコイン(LTC)の将来性は？ 今後の価格予想や買い方など徹底解説

仮想通貨YFIとは？ 今後の見通しや将来性・買い方を徹底解説

仮想通貨ICPとは？ 今後の将来性や価格予想・買い方を徹底解説

仮想通貨ネム(XEM/NEM)の将来性は？ 爆上げ原因や今後の価格予想を解説

仮想通貨・ビットコインは今後どうなる？ 将来性や暴落予想を徹底解説【2023年7月最新】

エイプコイン（ApeCoin/APE）の将来性は？ 今後予想や買い方など徹底解説

【仮想通貨】Cosmos（コスモス/ATOM）とは？ 特徴や将来性を解説

仮想通貨Fetch.ai (FET)とは？ 特徴や価格動向・買い方を徹底解説

仮想通貨Radiant Capital(RDNT)とは？ 特徴や将来性・買い方を徹底解説

仮想通貨Flamingo(FLM/フラミンゴ)とは？ 特徴や将来性・買い方を徹底解説

仮想通貨Perpetual Protocol (PERP/パーペチュアル)とは？ 特徴や買い方など徹底解説

仮想通貨FLOW（フロウ）とは？ 今後の将来性や価格予想・買い方を徹底解説

仮想通貨NEON（ネオン/Neon Link）とは？ 将来性や買い方を徹底解説

My Crypto Heroes(MCHC)とは？ 始め方や仮想通貨の買い方・取引所を徹底解説

仮想通貨Pepe 2.0(ペペコイン2.0)の買い方は？ 今後予想も徹底解説！

仮想通貨オーエムジー(OMG)の今後は？ 将来性や価格動向・買い方を徹底解説

仮想通貨IOST(アイオーエスティー)の将来性や100円になる可能性・買い方を徹底解説

仮想通貨アラゴン (ANT)は将来性ある？ 今後の価格予想や買い方・取引所を徹底解説

仮想通貨KLAY（クレイ）とは？ BITPOINTが日本初の取扱へ

仮想通貨FLOKI(Floki Inu)とは？ 将来性や買い方・バーンを徹底解説

【仮想通貨】スターゲート（Stargate/STG）とは？ 特徴や取引所を解説

仮想通貨MANA/Decentralandの将来性は？ 今後の価格予想や買い方、取引所を解説

仮想通貨メイカー(Maker/MKR)とは？ 特徴や将来性・買い方を徹底解説

仮想通貨ヤマイヌ(YAMAINU/山犬コイン)とは？ 特徴や将来性を徹底解説

仮想通貨クロノス(Cronos/CRO)とは？ 特徴や将来性・今後予想を徹底解説

仮想通貨CYBER(サイバーコネクト)とは？ 特徴や将来性・買い方を徹底解説

仮想通貨Celer Network(CELR)とは？ 特徴や将来性・買い方を徹底解説

仮想通貨USDT(テザー)の今後はどうなる？ 将来性や買い方を徹底解説

仮想通貨Sei (SEI)とは？ 買い方や将来性・価格動向を徹底解説

スピンドル（SPINDLE/SPD）とは？ 特徴や今後の見通しを解説

アバランチ(AVAX)は10000円になる？ 将来価格は？ 今買うべき？ 2023年～2032年価格予想

仮想通貨ワールドコイン（Worldcoin）とは？ 買い方や将来性を徹底解説

仮想通貨Celsius(セルシウス/CEL)とは？ 将来性や買い方・取引所を徹底解説

WOO Network(WOO)は100円になる？ 今後の価格予想や注意点を徹底解説

仮想通貨Balancer(バランサー/BAL)とは？ 価格動向や買い方を徹底解説

仮想通貨Band Protocol(BAND)とは？ 特徴や買い方・取引所を徹底解説

仮想通貨Bella Protocol(ベラ/BEL)とは？ 特徴や将来性、買い方を徹底解説

仮想通貨Cartesi（CTSI）とは？ 将来性や買い方・価格動向を徹底解説

仮想通貨AGIX(SingularityNET)とは？ 将来性やステーキング・買い方を徹底解説

仮想通貨ARPA(アーパ)とは？ 将来性や買い方・取引所を徹底解説

ステラルーメン(XLM)は10000円になる？ 将来性ない？ 今後の価格予想を徹底解説

仮想通貨Zilliqa(ジリカ/ZIL)とは？ 将来性や買い方・取引所を徹底解説

仮想通貨Ravencoin(RVN)とは？ 将来性やマイニング・買い方を徹底解説

仮想通貨Zcash(ジーキャッシュ/ZEC)とは?仕組みや取引所・マイニングを徹底解説

仮想通貨STORJとは？ 特徴や使い方・買い方を徹底解説

ガクトコイン(スピンドル/SPD)は将来性ない？ 詐欺コイン？ 今後の見通しを解説

仮想通貨ワールドコイン（Worldcoin）とは？ 買い方や将来性を徹底解説

仮想通貨ANKR(アンカー)の将来性は？ 特徴や買い方も徹底解説！

仮想通貨ALPHAとは？ 特徴や買い方・将来性を徹底解説